

寺小だより

令和6年度 7月号 No.4
富田林市立寺池台小学校
校長 浅井美佐
☎ 0721-29-1477



願いを叶える力

校長 浅井美佐

7月7日は七夕です。

七夕は、織姫と彦星が1年に1度だけ会うことができるお話や、願い事を書いて笹竹に飾る風習が広く親しまれています。

さて、流れ星が光っている間に願いを唱えれば願いが叶うという話があります。流れ星は、天空の神様が、下界の様子をそっと覗いたときに漏れる光で、その時に願い事を唱えると、その声が神様に届いて、願い事が叶うということなのです。

流れ星を見つけたその一瞬に、願い事を唱えるということは、結構難しく、いつも心に強く思い続けていないとできません。

そして、何度も何度も、願い事を言い続けていると、自分自身の脳がその言葉を繰り返し聞きます。すると、「自分はこれをやりたいんだ」「自分はこれをやるんだ」と願いを強く意識でき、願い事の実現のための大きな力を発揮することができるそうです。

今年の七夕は、子どもたちと一緒に星空を見ませんか。そして、流れ星は見えないかもしれませんが、星に向かって、自分たちの大切な願い事を言ってみませんか。

子どもたちが、「こんな自分になりたい」と強く願い、努力し、たくましく成長することを願っています。

